

痙攣性発声障害に対するボツリヌストキシンの薬効調査に関する研究のお知らせ

帝京大学ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2022年7月26日～2024年3月31日

〔研究課題〕

内転型痙攣性発声障害に対するボツリヌストキシンの薬効評価に関する検討(自覚症状の経日的変化による)

〔研究目的〕

ボツリヌストキシン治療は、痙攣性発声障害に対する代表的な治療法です。喉頭の筋肉内に適切な量のボツリヌストキシンを注射することによって異常な筋肉の運動を妨げ、発声障害をコントロールします。しかし、薬の効果はいずれ消失するため、効果が切れたところで再度注射を行う必要があります。今回の研究は、ボツリヌストキシン治療を受けた方の注射時の薬液の量や筋電図の波形、注射後の日々の音声の状態とその経過を調べ、ボツリヌストキシンの薬効がどのように発揮され、どう消退していくか、その特徴を評価します。

〔研究意義〕

この研究では、当科が行ったボツリヌストキシン治療の効果を検証します。その結果に基づき、適切な注射時期や投与量、注射する側などの決定に際してより適切な判断や治療につながることを期待されます。

〔対象・研究方法〕

2018年10月1日から2021年9月30日までに当科でボツリヌストキシン治療を受けられた方の診療録、注射の際の薬液の量、注射の際の筋電図波形、注射後の音声障害の程度などの記録を参照します。それらのデータからボツリヌストキシンの薬効の推移について評価します。

〔研究機関名〕

帝京大学ちば総合医療センター 耳鼻咽喉科研究室

〔個人情報の取り扱い〕

参加された患者さんの秘密は守られ、名前や個人を識別する情報は一切公表致しません。この研究で得られた情報を、国内外の関連学会や医学雑誌などに発表させていただくことがありますが、この場合であってもあなたの名前や個人を識別する情報は一切公表致しません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:氏名 本庄 需 職名 助教
所属: 帝京大学ちば総合医療センター 耳鼻咽喉科
住所: 〒299-0111 千葉県市原市姉崎 3426-3
TEL: 0436-62-1211 (代表) [内線 1250]